別記様式（第４条関係）

会　　議　　録

会議の名称	令和元年度第２回宍粟市地域包括支援センター運営協議会及び 令和元年度第１回宍粟市地域ケア推進会議	
開催日時	令和元年 11 月 12 日（火）　13：30～15：00	
開催場所	宍粟市役所北庁舎 4 階　401 会議室	
議長（委員長・会長） 氏　　名	垣尾会長	
委員 氏　　名	（出席者） 舩曳委員、伊藤委員、千本委員、栗林委員、振角委員、福原委員、森元委員、名畑委員、堀田委員、尾下委員、西川委員、春名委員、上田委員、上月委員、森井生活支援コーディネーター、猪尾生活支援コーディネーター	（欠席者） 縣委員、大路委員
事務局 氏　　名	（健康福祉部）　世良部長 （一宮保健福祉課）菅谷係長 （波賀保健福祉課）藤井課長 （介護福祉課）　小椋課長、栗山副課長、高田主任保健師、大砂主任保健師、亀井主査、中川主事	
傍聴人数	０人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） ３．宍粟市地域包括支援センター運営協議会 令和元年度上半期宍粟市地域包括支援センター事業実績について ４．宍粟市地域ケア推進会議 地域課題に対する支援体制について意見交換 ①　地域ケア会議の機能について説明 ②　「おしえてシート」（地域の取り組みについて）調査報告 ③　波賀地区の現状について ④　地域の抱える課題と社会資源マップ ⑤　地域ケア個別会議からみえてきたこと	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞	

（会議の経過）

発言者	課題・発言内容
事務局	１．開会 ２．あいさつ ３．宍粟市地域包括支援センター運営協議会について説明 令和元年度上半期宍粟市地域包括支援センター事業実績について（資料１） 地域包括支援センターの職員配置について、体制強化のため 65 歳以上人口 1,500 人に１人は３職種を置きなさいと言われている。 認知症地域支援推進員については現在１人で、今年度新たに３人研修に行く予定である。 地域包括支援センター事業の啓発として、ＰＲ動画を活用していきたい。現在、宍粟市健康大学のＰＲ動画を編集中。いきいき百歳体操の介護予防、支え合いではふれあいサロン、ふれあい喫茶、看取りの講演会も啓発としてしそう情報ボックスで紹介していきたい。 生活支援サービス体制整備事業について、自治会別の地域カルテを作成。 認知症予防のコグニサイズ教室を 10 月からは新たにメイプル福祉センターで開始。認知症サポーターは上半期 686 人、キャラバンメイトは今年度新たに 2 人増えた。 認知症初期集中支援チームの会議について、８月は新規ケースなしで開催していない。 介護予防・生活支援サービス事業について、介護予防訪問サービスと家事援助訪問サービスの利用は増え、短時間通所サービスの利用実績は減っている。新規事業対象者が少ない、事業対象者が介護保険申請し対象外になっている。 いきいき百歳体操登録者数について、平成 30 年度は 65 歳以上人口の 15.3%だったのが、今年度は９月末現在で 20.1%となっている。体操終了後に、いきいき百歳体操充実のためミニ講座を開催している。

	高齢者見守り事業の給食サービスの配食数について、山崎と千種は減っているが、波賀はすごく増えている。波賀が増えたのはＡコープが閉まったからなのでは。千種が減っているのはどうしてか。
Ａ委員	事業実績で質問はないか。
Ｂ委員	地理的な問題で、波賀と千種の違いは何であろうか。
Ｃ委員	波賀は、Ａコープが一年前に閉店し個人商店がない。千種は個人商店があり、個配をしてくれる店もあり、子どもが帰省のときまとめて買ってきてくれる。という声があった。
事務局	デイサービス利用後に、お弁当やおかずを提供してくれる所もある。デイサービス利用者ではないが、送りの途中にある家にお弁当を提供してくれる場合もある。
Ｂ委員	運転免許証を返納した人について、交通手段がない。買い物もできないと困っている人もいる。
Ａ委員	病院の外来では、本人の子どもから運転免許証返納について主治医より話をしてほしいと頼まれることがある。話をする条件として、返納されたら子どもが親のあしとなって、定期的に週１回、遠方の場合は月２回でもいいので関わりを持ってほしいと伝えている。返納しただけにならないでほしい。
Ｄ委員	運転免許証返納については時間をかけて説得する必要があると思う。
Ｂ委員	田舎では車がなかったら生活できない。
Ａ委員	認知症サポーター養成講座を小学５、６年生中心に広げてみてはどうか。今はどうやって広めているのか。
事務局	こちらから勧める時もあるし、手を挙げてくれることもある。過去には中高生に養成講座をしたこともあった。テキストは子ども版と大人版がある。

事務局	子ども向けの認知症サポーター養成講座は、声掛けの仕方やグループワークを行った。
Ａ委員	認知症サポーター養成講座を受けた小学５、６年生が低学年に話をするのはどうだろうか。
事務局	体験談として話すのもいいかもしれません。
Ｂ委員	認知症の人に対する理解はまだまだだと思う。市全体で意識づけが必要ではないか。医師の講演をもっとした方がいいのでないか。
Ａ委員	周りは問題視しているが、本人や家族は困っていないというケースがある。認知症初期集中支援チームでも、声をあげやすい形にしていきたい。
	14:10～ ４．宍粟市地域ケア推進会議 地域課題に対する支援体制について意見交換
事務局	①　地域ケア会議の機能について説明（資料２）
Ｃ委員	②　「おしえてシート」（地域の取り組みについて）調査報告（資料３） 2018 年６月調査し、各町の困りごとや問題になっていることについては、 山崎：空き家、ごみ出し 一宮：空き家、買い物 波賀：買い物、空き家 千種：空き家、移動手段 Ａコープの閉店により店がない、千種は個人商店や仕出し屋が多く弁当販売もあるが、今後買い物に困る人が増えるのではないか思う。
Ｅ委員	③　波賀地区の現状について（資料４） 平成 30 年末にＡコープが閉店した現在、波賀ウィークデーマーケットを開催している。ホット・カレンが運営中。マーケットの場所に行くのが大変。魚の移動販売もあり、いきいき百歳体操の場を利用している。

事務局	地域カルテや関わりの中で見えてきたこと、生活支援コーディネーターはこのような困りごとに寄り添いながら、地域の社会資源とマッチングしていく役割がある。
事務局	④　地域の抱える課題と社会資源マップ（資料５） 平成 29 年に介護支援専門員の研修で、各町に分かれ意見を出し合い作成したものである。把握しきれていない地域の資源を皆で共有、見える化していった。地域の抱える課題として、地域カルテを作成した。買い物と移動支援に困っている地域が多数。お店ない、商品少ないので充実してほしいという声があった。地域にある力を拡充していきたい。
事務局	見える化すると、問題ある場所が分かりやすいと思う。
事務局	⑤　地域ケア個別会議から見えてきたこと
事務局	山崎の地域ケア個別会議では、買い物支援が課題にあがることはない。障害サービスと介護保険サービスの併用利用について話し合った。買い物については、ヘルパー支援での買い物や宅配利用者が多い。介護保険サービスのヘルパー利用者に関しては、買い物はおおむね問題ないと思っている。介護保険を受けていない人は移動販売を利用し、来てくれるだけで助かっているという声もある。
事務局	一宮の地域ケア個別会議では、買い物については課題にあがらない。移動販売を利用している人が多い。移動手段で困っているという声はよく聞く。
事務局	波賀と千種については、先に説明いただきました。 「おしえてシート」のアンケート結果や社会資源マップから、もう少し聞いてみたいことなどありますか。
Ｂ委員	「おしえてシート」の調査で空き家に困っているという自治会が多かったが、何に困っているのか。
Ｃ委員	台風などの時、管理をしていない家からトタンが飛んできた。旧町内については窓ガラスを割って入られていた等、治安の問題がある。一番は人口が減ってきているので、空き家が多くなっている。

事務局	次は、買い物や移動手段に話を絞りたいと思う。 コープこうべのチラシは量が多く注文書の欄が小さいため、高齢者が注文するのに難しい部分があると思う。 生活支援コーディネーターがコープとの連絡会（上半期・下半期）に出席しているので、要望を伝えていきたい。
Ｆ委員	ヘルパー支援では食材を確認して、コープこうべの注文の手伝いを実際受けているケースもある。
Ｄ委員	タブレット注文、どこかの地域でしていたような気がする。 例えば週１回や月１回、希望者を募り買い物支援の送迎があればいいのでは。
Ｇ委員	社会福祉協議会では３、４年前に、小茅野と道谷を対象に買い物の送迎事業をしたことがあった。しかし、遠慮されることが多くなり現在は中止している。
Ｈ委員	小茅野でも買い物支援をしていたが２、３回目になると、遠慮がちになる。定期的にあれば違うのだろうか。買い物支援でお店に行くことが増えると今度は、移動販売車が来られなくなってしまう恐れがある。
事務局	商工会に働きかけ、連絡会を立ち上げたいという考えはある。 コープこうべの注文用紙は変更を、献立によって食材が明記されているなど。
Ｉ委員	注文用紙は多い。希望者には食材のみのチラシを配布してほしい。
Ｆ委員	今のコープこうべの注文用紙では、冷蔵・冷凍の見分けが分からない。
事務局	コープこうべとの連絡会で要望したい。商工会との連絡会を立ち上げ、地域づくりをしていきたい。
Ａ委員	“食う”ということは非常に大切で、日々のことなのでとても難しいと思う。

事務局	５．その他 11 月 7 日（木）に宍粟市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進委員会を開催。 在宅介護実態調査と介護予防・日常生活圏域実態調査を実施する。第８期介護保険事業計画のアンケートを 11 月末発送予定。 問合せあれば、介護福祉課へお願いしたい。 ６．閉会